

2021年10月15日

TIAFT2022Virtual 発表者対象のブランデンベルガー・松本賞の募集について

本賞はスイスのブランデンベルガー先生が TIAFT2012（浜松）でのご講演のために来日された際に支給された渡航費とご自身の資金を基に設立を提案されたものであり、親友であられた故松本勇先生のお名前を併せて冠した賞です。本来の趣意は、海外で開催される TIAFT 年會に日本から渡航して参加する方への支援（賞金 10 万円、ただし条件により減額）ですが、今回は中止となった TIAFT2020/2021 の代替オンライン開催であるため、下記の通り賞金額を調整して募集します。

なお、2022 年夏に TIAFT2022（フランス）が予定されており、その現地またはオンライン開催が決定された場合には、その発表者を対象とした募集を別途行う予定です。

目的: TIAFT 年會における研究発表の奨励

賞金: 2 万円（選出後、発表が困難になった場合は、速やかに返却すること。）

応募資格及び募集人数: 日本法中毒学会および国際法中毒学会の会員であり、TIAFT 年會において発表予定の者 1~2 名程度。（筆頭発表者に限る）年齢制限は設けないが若手を優先する。

審査: 日本法中毒学会理事会において行なう。

なお、口頭発表者を優先し、応募者が科研費などの公的研究費の助成を受けている場合には選外または減額することがあります。

応募者は、① 所定の応募用紙（署名後、PDF ファイル等として出来るだけ開封パスワードを設定して作成して下さい。）、② 最近の法中毒関係の論文リスト（5 編以内）、及び ③ TIAFT2022Virtual での発表 Abstract（英文、PDF 化したファイル）を、2021 年 11 月 15 日必着で、下記顕彰委員長宛にメール添付で提出して下さい。

なお、年會事務局への発表申込（要旨提出）期限は 11 月 1 日とのことですので、ご注意下さい。

必要書類を添付した e-mail を受信後、数日以内に応募受付の確認メールを応募者に送信します。万一、数日を過ぎても確認メールが届かない場合には、送受信の不具合等が考えられますので、電話連絡をお願い致します。

なお、受賞者は発表に際して Power Point あるいは Poster に以下のような謝辞を入れると共に、適切な英文による作成に努めて下さい。

例) Acknowledgments: This presentation is supported by the 2022 Brandenberger-Matsumoto Award of the Japanese Association of Forensic Toxicology.

問合せ先：大阪府警察本部 科学捜査研究所

日本法中毒学会 顕彰委員長 三木 昭宏

電話：06-6268-1234（東警察署経由 内線593番）

応募書類提出先 e-mail: mikimickey@nifty.ne.jp

以上